

提言第 3 号 注射剤によるアナフィラキシーに係る死亡事例の分析

事例番号：事例4

< 事例概要 >

- ・ 大腸がん切除術後の70 歳代女性。造影CT 検査室で発症。死亡時画像診断（Ai） 有、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、造影剤のオムニパーク。
- ・ 過去にオムニパークを 5 回使用したが、アレルギー症状の出現無。
- ・ オムニパーク注入から 5 分後、検査が終了し立ち上がると同時にふらつきを訴え、坐位をとるとそのまま意識消失。両手背から前腕に紅潮あり。10 分後に副腎皮質ホルモン薬、アドレナリン1 mg を静脈内注射し救急処置を実施するが、約 2 時間半後に死亡。